

校長室だより

令和4年度 第7号

松本大学学長・菅谷 昭 先生の講演会を開催しました

9月22日(木)、本校生徒を対象に人権教育講演会を開催しました。

この行事は、人権や平和を考える機会として、毎年様々な講師をお招きして実施しています。

今年は次のような内容でした。

演題 : スラブ族の人々と関わって

(1) ロシアのウクライナ軍事侵攻 (2) チェルノブイリ原発事故 人権との関わり

講師 : 菅谷 昭 先生(松本大学学長、前松本市長)

菅谷先生が松本大学で学生の皆さんと平和を考える活動をされているという新聞記事を読んだ本校職員から、ぜひ菅谷先生のお話をお聞きしたいとの提案があり、今回の講演が実現しました。

ご快諾いただいた菅谷先生ならびに松本大学様には、心から感謝申し上げます。事前学習用に、NHKで放送された「プロジェクト X」のDVDも提供していただき、松本市長に就任される以前に、先生が医師として、チェルノブイリ原発事故後の放射線被害に苦しむ人々を支援するために、ベラルーシに渡った経緯を知ったうえで、講演をお聞きすることができました。

松本大学からお借りしたDVDを全員が視聴しました
本校図書館にも菅谷先生の著書があります



お話の冒頭で、私たちには馴染みの少ないスラブ民族の歴史をご説明いただき、現在戦争状態になっているウクライナとロシアの、歴史的経緯をふまえた関係について理解が深まりました。また後半では、福島原発事故によって引き起こされている健康被害だけでなく人権侵害の事例についてもお話いただきました。

チェルノブイリの原発事故は高校生が生まれる遙か昔の話ですが、菅谷先生の体験に基づくお話から、原子力事故の恐ろしさと影響の深刻さを具体的に知るとともに、福島で同じ事故が発生して、その影響は現在も続いていることから、「どこか遠い国の出来事ではなく、自分にも関係があることなのだと思った」という感想を多くの生徒が記していました。

2年生は12月に広島への修学旅行を予定しています。また、医療関係の進路希望が多い本校生徒

にとって、人の命や幸福という大きなテーマに向き合う貴重な講演となりました。



来年は 豊科高等学校創立 100 周年

令和5年 10月21日(土)

記念式典を開催します